

〔科目名〕 <p style="text-align: center;">租 税 法</p>	〔単位数〕 <p style="text-align: center;">2 単位</p>	〔科目区分〕 <p style="text-align: center;">選択科目</p>																					
〔担当者〕 <p style="text-align: center;">金子輝雄</p>	〔オフィス・アワー〕 時間: アナウンスします 場所: 513 研究室	〔授業の方法〕 <p style="text-align: center;">講義</p>																					
〔科目の概要〕 <p style="text-align: center;">「103 万円の壁」って？</p> <p>わが国には約 50 種類の税がありますが、その中で最も重要かつ基本的な税が所得税です。所得税は消費税と並んで私たちの日常生活に密接にかかわっていますので、もはや社会人の一般常識と考えてください。</p> <p>そもそも、税金がなぜ存在するのか。社会保険料との違いは何か。税金がどのように使われているのか。税金を払わなかったらどうなるのか。これらのことを知っていますか？</p> <p>授業では、初めに、税の目的、財政上のウエイト、租税公平主義や租税法律主義といった基本原則等を一通り学んで、徐々に所得税の学修へと進みます。所得金額および税額の計算をマスターしてもらうだけでなく、適宜、租税の歴史や税務裁判事例を織り込んで、租税法の解釈ならびに租税法を学んでいただきたいと考えています。</p>																							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <ul style="list-style-type: none"> ・ 所得の確定申告はもちろん、給与から天引きされる所得税・住民税等の仕組みを理解するとともに、ひとりの「納税者」という視点で、社会を見つめることができます。 ・ 会計学基礎論で学んだ会計処理の意味が理解できます。というのも基礎的な簿記は所得税法を前提としているからです。併せて、節税のタックス・プランニングを学べます。 ・ 同じ所得課税である法人税の理解に役立ちます。「法人成り」、「欠損金目当ての M&A」、「所得の海外移転」、企業の経営戦略には税務の側面を見逃せません。 																							
〔科目の到達目標〕 <中間目標> 全国経理学校協会主催「税務会計検定試験(所得税法)」3級合格レベル。 <最終目標> 同 2 級合格レベル。 ファイナンシャル・プランニング技能士試験、税理士試験や公認会計士試験も視野に入れていきます。																							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕																							
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="4">学部</th> <th colspan="3">学科</th> </tr> <tr> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> <th>DP4</th> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>			学部				学科			DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	○						○
学部				学科																			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3																	
○						○																	
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 数名ですが、「練習問題を解く時間を多くしてほしい。解説を丁寧にやってほしい。」という要望が見られますのでなるべく配慮いたします。																							
〔教科書〕 全国経理学校協会編『演習 所得税法 <最新版>』清文社																							

〔指定図書〕 企業分析研究会編『現代日本企業の企業分析』新日本出版 2018年	
〔参考書〕 諸富 徹 著『税という社会の仕組み』筑摩書房 2024年	
〔前提科目〕 特にありません。「憲法概論」や「財政学」が参考になります。	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 出席カード:ミニツツペーパーとして重要な用語・計算の確認テストを行います。(10%) レポート課題:税務会計検定試験の過去問等 (10%) 期末試験:税務会計検定試験の所得税法 2級程度 <教科書の持ち込み可> (80%)	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 教科書の章末や巻末の練習問題に取り組みましょう。	
〔実務経歴〕 銀行業・税理士事務所	
授業スケジュール	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): ガイダンスおよび税とは</p> <p>内 容: 税金の意義・根拠・目的・分類、納税の義務の根拠、専門用語の解説等。 国債の発行残高の推移、消費税率と所得税率の関係について</p> <p>教科書・指定図書 配布プリント</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 租税法の基本原則と所得税のあらまし</p> <p>内 容: 租税法律主義と租税公平主義、日本政府の歳入と歳出の状況、所得税のあらまし 納税は国民の義務ではなく権利です!</p> <p>教科書・指定図書 第1章</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): 課税要件<納税義務者と課税所得></p> <p>内 容: 所得税とは、納税義務者、課税所得の範囲、所得の帰属等。 課税要件とは? 公平の考え方。</p> <p>教科書・指定図書 第2章</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 利子所得・配当所得および所得税の源泉徴収制度について</p> <p>内 容: 利子所得および配当所得の意義と金額の計算方法 ニーサとイデコ!</p> <p>教科書・指定図書 第3・4章 および第19章</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): 青色申告制度・不動産所得</p> <p>内 容: 簿記と青色申告制度の概要と特典、不動産所得の意義と金額の計算方法 電子帳簿、インボイス、電子申告について</p> <p>教科書・指定図書 第18章および第5章</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 事業所得①</p> <p>内 容: 事業所得の意義、金額の計算、収入金額< 商品を自分で消費したらどうなる? 自家消費の問題</p> <p>教科書・指定図書 第6章</p>

第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 事業所得②</p> <p>内 容: 必要経費、棚卸資産 必要経費、家事費および家事関連費の関係</p> <p>教科書・指定図書 第6章</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): 事業所得③</p> <p>内 容: 事業所得およびこれまで見てきた内容の計算演習 従業員の不法行為と使用者の責任、レポート課題</p> <p>教科書・指定図書 第6章</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか): 給与所得</p> <p>内 容: 概要と計算式 クロヨン問題、レポート課題の解説</p> <p>教科書・指定図書 第7章</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): 退職所得と山林所得</p> <p>内 容: 分離課税と5分5乗方式 経常所得と臨時所得、短期所得と長期所得</p> <p>教科書・指定図書 第8・9章</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): 譲渡所得・一時所得・雑所得</p> <p>内 容: 譲渡所得の概要と計算式 土地や建物を売却したら譲渡所得、家財道具は非課税。</p> <p>教科書・指定図書 第10・11・12章</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): 損益通算</p> <p>内 容: 損益通算と損失の繰り越し控除 被災したら税負担はどうなるのか?</p> <p>教科書・指定図書 第13章</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): 所得控除</p> <p>内 容: 各種所得控除制度の内容 扶養控除や基礎控除の額および課税最低額について!</p> <p>教科書・指定図書 第14章</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): 納付税額の計算</p> <p>内 容: 課税所得金額と納付税額の計算 累進税率の仕組み、住宅関連税額控除制度について。</p> <p>教科書・指定図書 第15・16章</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか): 租税の確定手続と全体のまとめ</p> <p>内 容: 申告納税制度と不服申立制度、租税犯則について! 脱税は犯罪です。</p> <p>教科書・指定図書 プリントおよび教科書の総合問題</p>
定期試験	